



表1 小児肝障害の原因疾患

年齢	疾患（病態）	特徴
新生児・乳児期	胆道閉鎖症	高直接ビリルビン血症、淡黄色便、可及的早期に診断し、肝門部空腸吻合術を行う。
	薬剤性肝障害	あらゆる薬剤が原因となり得る。原因薬剤の摂取中止
	ウイルス性肝炎（B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス、単純ヘルペスウイルス、サイトメガロウイルス、EBウイルスなど）	各種抗体検査、PCR検査
	先天性代謝異常（尿素サイクル異常症、有機酸代謝異常症、脂肪酸合成異常症、ミトコンドリア呼吸鎖異常症など）	肝腫大、高アンモニア血症、低血糖、代謝性アシドーシス
	肝内胆汁うっ滞症	高直接ビリルビン血症、胆道閉鎖症の除外
	先天性心疾患	うっ血肝、心エコー、心雑音、肝腫大を伴うことがある。
	全身性疾患	甲状腺機能低下症、低栄養、川崎病
	新生児肝炎	上記の除外
幼児期	ウイルス性肝炎（A型肝炎ウイルス、B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス、E型肝炎ウイルス、単純ヘルペスウイルス、サイトメガロウイルス、EBウイルス、アデノウイルス、エンテロウイルスなど）	各種抗体検査、PCR検査 陽性結果が得られた際に該当ウイルスが肝障害の原因となっているかは検討を要する。
	薬剤性肝障害	あらゆる薬剤が原因となり得る。原因薬剤の摂取中止
	先天性代謝異常（糖原病、リソソーム病、コレステロールエステル蓄積症など）	肝腫大、高アンモニア血症、低血糖、代謝性アシドーシス
	Wilson病	セルロプラスミン低値、24時間尿中銅排泄量
小児期	ウイルス性肝炎（A型肝炎ウイルス、B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス、E型肝炎ウイルス、単純ヘルペスウイルス、サイトメガロウイルス、EBウイルス、アデノウイルス、エンテロウイルスなど。D型肝炎ウイルス	各種抗体検査、PCR検査 陽性結果が得られた際に該当ウイルスが肝障害の原因となっているかは検討を要する。
	薬剤性肝障害	あらゆる薬剤が原因となり得る。原因薬剤の摂取中止
	Wilson病	セルロプラスミン低値、24時間尿中銅排泄量
	非アルコール性脂肪肝疾患	身体計測、肥満、他の脂肪肝合併疾患の除外。メタボリックシンドロームの評価
	自己免疫性肝炎、原発性硬化性胆管炎、オーバーラップ症候群	IgG、自己抗体の測定、肝生検、MRCP